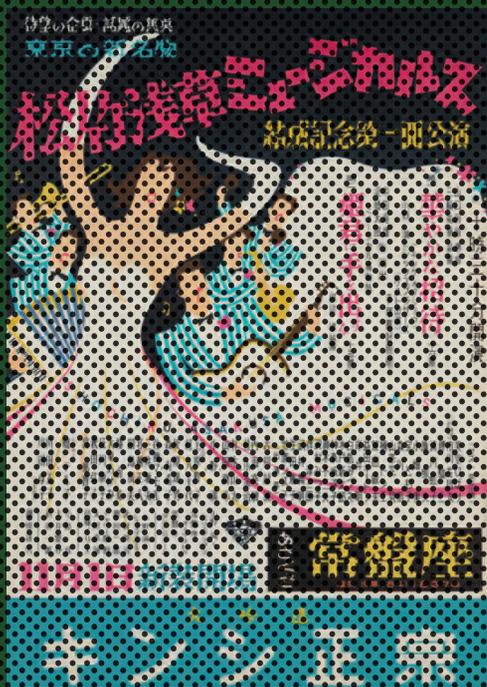


演劇博物館 出張展示

昭和100年 演劇・映画 ポスター展



本庄早稲田の杜
ミュージアム
HONTO-WASEDA NO MORI MUSEUM



評内道達博士
全集ヤブスクエシ
行製社論公央中 中集募約縁

2025年6月24日(火)から
2026年1月18日(日)まで
開館時間：午前9時～午後4時30分
休館日：月曜(休日の場合は翌日)・年末年始(12/28～1/3)

入場無料



本庄早稲田の杜ミュージアム
HONTO-WASEDA NO MORI MUSEUM



主催：早稲田大学坪内博士記念演劇博物館
共催：早稲田大学文化推進部文化企画課

早稲田大学坪内博士記念演劇博物館（通称「エンパク」）は、昭和3（1928）年に坪内逍遙の古稀（70歳）と、『シェークスピア全集』全40巻翻訳完成を記念して創設されました。

坪内逍遙（1859—1935）は、早稲田大学で長く教鞭を執った英文学者で、翻訳だけでなく歌舞伎劇の創作や俳優の養成などさまざまな面で近代演劇の発展に寄与しました。2028年に100周年を迎えるエンパクは、古今東西のあらゆる演劇の資料を集めるという坪内逍遙の理念のもと、その範疇を映画やテレビなどにも広げながら、国内外の多種多様な資料を収集してきました。



早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 外観

さて、2025年は昭和元年から数えて「昭和100年」にあたります。今回の企画展では、エンパクの膨大なコレクションから、その時代を彩った演劇や映画のポスターを展示することで、「昭和」の文化や風俗を振り返るとともに、今なお色あせないグラフィックデザインの魅力をご紹介します。また、エンパクの活動を広く知っていただくために、坪内逍遙愛用の帽子やかばん、明治時代に河鍋暁斎が描いた「妖怪引幕」（複製パネル）など、エンパクの代表的なコレクションも展示します。



演劇博物館開館式で挨拶をする逍遙



逍遙愛用の品 山高帽、晩年愛用した帽子
革靴、眼鏡、ステッキ



河鍋暁斎画 新富座妖怪引幕（複製パネル）

会場：本庄早稲田の杜ミュージアム 展示室

*会期中一部展示替えがあります。関連イベント開催予定

■表紙の作品（右下から時計回りに）

『シェークスピア全集』刊行 ポスター / 家庭用児童劇公演 ポスター
坪内逍遙訳「十二夜」ポスター / 松竹浅草ミュージカルス ポスター

HONTO-WASEDA NO MORI MUSEUM
本庄早稲田の杜
ミュージアム

〒367-0035 埼玉県本庄市西富田 1011

<https://www.hwmm.jp/>

Tel: 0495-71-6878 / Mail: hwmm@city.honjo.lg.jp

開館時間：午前9時～午後4時30分

休館日：月曜日（休日の場合は翌日）・年末年始

*ご来館の際には、最新の開催日程・時間をご確認ください



アクセス

■新幹線：JR上越・北陸新幹線 本庄早稲田駅南口から徒歩3分

■電車：JR高崎線 本庄駅南口からはにぼんシャトル（所要時間13分）

バス停「本庄早稲田駅北口」下車 徒歩5分

本庄駅南口からタクシー10分

■自動車：関越自動車道 本庄児玉ICから5分 無料駐車場あり

